

2022年 8月 18日発行

☆★目次☆★ 1、はじめに

2、トピックス

3、山梨県新型コロナウイルス感染症発生状況

4、終わりに

5、新着情報



1、【はじめに】～地域医療支援室からご挨拶～

夜風がこころもち涼しく感じるようになってきているなか、まだまだ残暑が一層身に伝える日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いつも多大なお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まってからすでに3年余りが経ち、現在第7波が到来し猛威を振るっています。当院では、県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等に係わる関連情報について、いち早く、医療機関の皆様と共有いたしたく、県のホームページにおいて公表しております情報発信ページのアドレスをご案内いたしますのでご活用ください。感染者数の増加は今後も続くと言われており、ご苦労なことも多いかと拝察しておりますが、共に乗り越えていきましょう。今後もよろしく願いいたします。

2、【トピックス】今月号は、総合相談センター看護支援系の紹介をさせていただきます。

① ご挨拶

平素より当院総合相談センター看護支援系に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当院の看護支援系の紹介をさせていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

看護支援係 看護師長 中込 久美子

② 看護支援系の役割

「地域医療機関との連携を充実させ、地域中核病院としての機能を発揮する」

「患者支援機能の充実強化に取り組む」

大きく上記2点を目標に掲げ、訪問看護ステーション、周辺の診療所をはじめ、老人介護施設や介護保険施設との連携を日々推進し、患者様への支援の強化に取り組んでいます。

③ 看護支援系のメンバー

現在、看護師長1名、副看護師長1名、看護師5名、事務職員1名、認定看護師(

認知症、皮膚排泄、認知症) 各1名の計11名が所属しています。

認定看護師は院内外と幅広く、それぞれが各自の役割を果たしております。住宅等で悩み事がありましたら「専門・認定看護師による同行訪問看護」も実施していますので、ご活用していただけたらと思います。お気軽にご相談ください。

④ 医療相談係との連携

総合相談センターには医療社会福祉士4名が所属しています。毎朝カンファレンスを行ない、日々連携を図りながら患者様やご家族の希望に沿った支援に取り組んでいます。院内において病棟、外来の看護師間で定期的カンファレンスを実施し、また神経内科や整形外科の診療科とリハビリテーション技師を含めた他職種とのカンファレンスも行ない、患者情報を共有しながら、退院支援を行なっています

⑤ オンライン面会について

COVID19 蔓延に伴い、患者様への面会が制限されて3年が経過します。タブレット越しですが、少しでも患者様と対話を行い日頃の様子を見ていただくことで、患者様・ご家族の精神的不安の軽減に繋がっています。

⑥ オンライン退院支援カンファレンスについて

退院支援では現在オンラインの「トリニティケアクラウドシステム」を利用しています。患者個人情報を守りながらカンファレンスに参加できるように、7月から本格的な活用を進めています。必要時、患者様も参加できます。他職種カンファレンス、退院時カンファレンス等に活用しています。利用方法についての質問や確認事項がある方は、総合相談センター看護支援係に連絡をください。トリニティケアクラウドシステムのマニュアルの送付やご説明をさせていただきます。



